

2022 年度 第 1 回理事会議事録

I. 会議名 : 2022 年度（公社）日本地すべり学会 第 1 回理事会

II. 開催日時 : 2022 年 5 月 13 日（金） 14 時 30 分～16 時 30 分

III. 開催場所 : WEB 会議

IV. 出席者 : 理事出席 16 名、監事出席 1 名、その他 2 名

（○：会場出席、○W：オンライン出席、×：欠席）

役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
理事	浅野 志穂	○	理事	太田 英将	×	理事	富田 陽子	○W
理事	石丸 聡	○W	理事	加藤 猛士	○	理事	中里 裕臣	○
理事	岩橋 純子	○W	理事	笹原 克夫	×	理事	中村 真也	○W
理事	宇次原 雅之	○	理事	佐藤 剛	○W	理事	平松 晋也	○
理事	榎田 充哉	×	理事	佐藤 浩	○W	理事	藤井 俊逸	○W
理事	大河原 正文	○W	理事	柴崎 宣之	○	理事	渡部 直喜	○W
理事	小山内 信智	×	理事	高山 陶子	○W	(理事 16 名, 定足数 11 名)		

監事	今泉 文寿	×	監事	相楽 渉	○	(監事 1 名)
----	-------	---	----	------	---	----------

事務局	鈴木 英則 (会場出席)	表彰委員長	八木浩司 (オンライン出席)	(その他 2 名)
—	—	—	—	

○理事会開始時における理事の出席数は 16 名で、定足数 11 名（理事の過半数）を満たし理事会は成立。

○中村理事の代理で九州支部木村事務局長が出席。

○大河原理事は、審議事項-1 を終えて退席（出席理事 15 名）。

○議事録署名人は、平松会長、相楽監事。

<議長あいさつ>

- ・平松会長が開会のあいさつを行った。

I 審議事項

1. 2021 年度事業報告

各部長、各支部長、各委員長、担当理事より今年度の事業報告についてそれぞれ説明が

行われた。それぞれの長が理事会へ参加していない部・委員会・支部については、以下の理事が報告した。

- ・ 研究調査部；柴崎理事。
- ・ 解説委員；柴崎理事。
- ・ ICL 委員会；柴崎理事。
- ・ 斜面防災技術国際委員会；柴崎理事。
- ・ 中部支部；平松会長。
- ・ 関西支部；藤井理事。
- ・ 九州支部；木村九州支部事務局長。

平松会長より、アウトリーチについては、担当理事 1 名では活動に限界があるので、岩橋理事、太田理事も参画して活動の幅を広げていく方針になったとの説明がなされた。

理事からの説明後の意見・質問はなかった。

- ・ 審議の結果、賛成 16 票、反対 0 票で承認された。

○大河原理事 退席（理事 15 名）

2. 2021 年度決算報告及び監査報告

柴崎理事より、資料に基づき、2021 年度の決算について説明が行われた。また、相楽監事より監査報告が行われた。

監査結果の概要は、以下の通りである。

- ① 各支部から事業実施の領収書、通帳の写しを確認、相楽、今泉の 2 名で確認した。
- ② 不適切な使途はない。

決算および監査報告について理事からの意見・質問はなかった。

- ・ 審議の結果、賛成 15 票、反対 0 票で承認された。

3. 2022 年度学会賞

八木表彰委員長より、資料に基づき 2022 年度の学会賞推薦者の説明が行われた。

- ① 論文賞；推薦者はいない。
- ② 技術報告賞；齊藤雅志会員。

対象となる技術報告：SfM 技術を活用した集水井の三次元維持管理手法， 第 58 巻 2 号(3 月号) pp. 17-22。

- ③ 査読者賞；倉岡千郎会員。
- ④ 国際賞；推薦者はいない。
- ⑤ 学会活動貢献賞；推薦者はいない。

八木委員長からの説明後の意見・質問は以下の通りである。

- ・編集委員会以外からの推薦はあったか。

→地すべり学会では、編集委員会からの推薦、表彰委員長が推薦する場合が多い。

- ・審議の結果、賛成 15 票、反対 0 票で承認された。

4. 2022 年度助成金対象研究課題

柴崎理事より、資料に基づき、2022 年度の助成金対象の研究改題について説明が行われた。理事からの説明後、理事から出された意見は、以下の通りである。

- ・2019～2021 年の助成金の成果が見えてこないように感じている。今回提示された研究課題は、地すべり学会の助成金なので、地すべり学会の研究発表会や学会誌へも投稿を行って頂き、地すべり学会へ研究成果が見えるようにして欲しい。

- ・審議の結果、賛成 15 票、反対 0 票で承認された。

5. 2023 年度研究発表会開催地

佐藤理事より第 62 回研究発表会および現地見学会の開催地第一候補を岐阜県に決めたとの説明が行われた。中部支部では当該県での開催に問題がないか調査を進めるとともに、関係機関担当者（岐阜県砂防課・岐阜大学等）とのコンタクトを開始している。

理事からの説明後の意見は特になかった。

- ・審議の結果、賛成 15 票、反対 0 票で承認された。

6. 担当交代に伴う業務の引継ぎのお願い

平松会長より担当理事交代の際は、6 月末を目途に文書で申し送り事項、懸案事項等を引き継いで欲しいとのお願いがあった。

7. 入退会者状況

鈴木事務局長より、資料に基づき、地すべり学会への入退会状況について説明が行われた。理事から出された意見は特になかった。

- ・入会者について審議の結果、賛成 15 票、反対 0 票で承認された。

Ⅱ 報告事項

1. 会長・副会長・専務理事の職務執行報告

平松会長、中里副会長、浅野専務理事よりそれぞれの活動状況について報告が行われた。榎田副会長は所要で理事会を欠席せざる得ない状況だったので、榎田副会長の活動状況は、柴崎総務部長が代理で報告した。

報告後、理事から出された意見・質問は特になかった。

2. 代議員の交代（関東支部）

中里副会長より、代議員になっている正会員（団体）より代議員変更届が出されたことの報告が行われた。交代した正会員（団体）は、以下の通りである。

- ・群馬県 環境森林部 森林保全課
- ・山梨県 県土整備部 砂防課

3. BIM/CIM ネットワーク報告

富田理事より、資料に基づいて BIM/CIM ネットワークの開催状況について報告が行われた。報告後、理事から出された意見・質問およびその後の質疑応答は、以下の通りである。

- ・この活動の落としどころをどのように考えているか。

→アンケートをとった結果、情報交換をしていきたいと考えている。活動は2年間としているが、teams という意見交換のツールがあるので、この活動は継続していくことになるだろうと考えている。。

→富田理事の後継者を考えながら活動して欲しい。

4. その他

石丸理事より、福岡大会の日程について質問があった。

→木村九州支部事務局長より来週の実行委員会でハイブリットでの開催内容について決定するとの回答がなされた。

以上

議 長 平松 晋也 ⑩

議事録署名人 相楽 渉 ⑩